

慶大 34 年ぶり 4 度目日本一

15 安打 13 得点 プロ注目4番正木が先制弾



慶大対福井工大 優勝し喜ぶ慶大の選手たち



慶大対福井工大 1 回表慶大 2 死一塁、先制 2 点本塁打を放つ正木(いずれも撮影・野上伸悟)

<全日本大学選手権：慶大 13-2 福井工大>◇13 日◇決勝◇神宮

慶大（東京 6 大学）が 34 年ぶり 4 度目の優勝を果たした。15 安打 13 得点で圧倒。今秋ドラフト候補の 4 番正木智也内野手（4 年＝慶応）が先制 2 ランを含む 3 安打 3 打点で、最高殊勲選手賞に輝いた。昨年はコロナ禍で大会中止。2 年前の明大に続き、東京 6 大学が頂点に立った。福井工大（北陸）は初の決勝進出も、北陸大学野球連盟初の日本一はならなかった。

◇ ◇ ◇

日本一まで 1 球となっても、一塁を守る正木は表情を変えなかった。13-2 の 9 回 2 死走者なし。福井工大の代打・茂森が空振り三振に倒れ、初めて口角を上げた。猛ダッシュでマウンドへ。NO・

1 ポーズで、仲間と喜びあった。

「勝ちきるまで、ホームランを打っても、あまり喜ばないと決めてました」と打ち明けた。勝負は最後まで分からない。苦い経験から得た教訓だ。昨秋の早慶2回戦。優勝まで1死としながら、土壇場で早大・蛭間に逆転2ランを打たれ敗れた。バックスクリーンへと消える打球を、当時右翼の守備位置から見送りながら「ホームランは1発で流れを変える」と痛感した。

最上級生で臨んだ今春。自己最多1季4本塁打で優勝に貢献した。今大会も準決勝・上武大戦で先制2ランを放ち、この日も初回に先制2ラン。「昨日は内角をホームラン。今日は外角攻めと思っていた」と、読み通り外寄り138キロをバックスクリーン右横へ放り込んだ。入学来テーマにしてきた逆方向への1発。今春リーグ戦ではなかった当たりを、大一番で放った。

生粋のバットマンだ。小2で野球を始め、今はない東京・平和島のバッティングセンターに通った。打撃教室で月間5、6本塁打を記録。7歳の少年が中学生や高校生を抑えトップに立ち、驚かせた。天性だけじゃない。オフはウエートに励み、スイングスピードを上げた。インサイドアウトの軌道も徹底した。そうしてつかんだ日本一の4番の座。ただ、こう言った。「通過点です。秋に向かって、もっとチームとして強くなれるように」。重責を担い続ける。【古川真弥】

◆正木智也（まさき・ともや）1999年（平11）11月5日生まれ。東京・大田区出身。池雪小2年の時、池雪ジュニアストロングで野球を始める。世田谷西シニア通算30本塁打。慶応高では1年秋ベンチ入り。2年春から4番で高校通算50本塁打。慶大では1年春からリーグ戦出場。今春まで通算61試合52安打10本塁打43打点、打率2割9分9厘。50メートル走6秒4。遠投110メートル。外野も守る。目標の選手は巨人坂本勇人。182センチ、87キロ。右投げ右打ち。

▽慶大・福井章吾主将（2安打に投手陣をリード）

「たまたま僕がキャプテンという役回り。スタンドに座る選手を含め、部員一同でつかんだ優勝です。監督、チームメートに恵まれた結果。みんなに感謝したい」

▽慶大・増居翔太投手（先発で6回3安打2失点。大会2勝、防御率2・77で最優秀投手賞）

「いろんな人のサポートで、ここまで来られました。結果として賞をいただきましたが、まだ成長できると思います」

▽慶大・渡部遼人外野手（16打数9安打、打率5割6分3厘で首位打者）「日本一という結果の中に首位打者を獲得でき、大きな自信になりました。サポートや打撃投手を務めてくれた仲間のおかげです」



MVP の慶大・正木(左)と首位打者の渡部遼は、トロフィーを掲げ笑顔

日刊スポーツ 就任2年目で日本一の慶大・堀井監督、

偶然見たバスケット中継が転機に

6月13日20時55分

慶大・堀井哲也監督（59）は、JR 東日本監督として11年都市対抗優勝。アマ球界の名将も、35歳の時、三菱自動車岡崎で監督としてのキャリアをスタートした当初は壁にぶつかった。勝てなかった。「立ち振る舞いや選手への指示の仕方が幼かった」と振り返る。

たまたま見たバスケットボール中継が転機となった。元女子日本代表監督で秋田経法大（現ノースアジア大）を率いていた中村和雄氏（80）の解説に「面白い発想をする人だなと。視点が人と違っ

て興味を引かれました」。ツテを頼り、秋田まで会いに行った。一緒にゴルフをし、きりたんぼ鍋を囲んだ。別れ際「しっかりやらなきゃダメだよ」と言われ、気がついた。「やるしかない。選手に好かれようじゃなく、チームが勝つために監督がどう判断するか」。2年目の98年、都市対抗出場を果たした。

慶大でも就任2年目で日本一。ただ、決勝前に選手に言ったのは「今日は通過点」。真意はこうだ。「目標はリーグ優勝、日本一でも、学生は4年間で自分を表現する場をつくる」。秋のリーグ戦へ戦いは続く。

【古川真弥】

全日本大学選手権詳細

2021年6月13日 16時23分

<全日本大学野球選手権：慶大13-2 福井工大>◇13日◇決勝◇神宮

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
慶	2	0	0	3	1	2	0	0	5	13
福	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2

【福】南大(伊勢工)祝原(阪南大高)立石(大体大浪商)谷(西舞鶴)

力投する慶大先発の増居

【慶】増居(彦根東)生井(慶応)橋本達(長田)

【本】正木、下山(慶)

試合経過

慶大は1回表、2死から3番下山が敵失で出塁。4番正木が中越えへ2ランを放ち先制

福井工大は1回裏、2死から3番長峯が四球。4番尾堂の右安打で一、三塁。5番田中は鋭い打球を放ったが右翼正面のライナーで無得点

慶大は2回表、3者凡退

福井工大は2回裏、3者凡退

慶大は3回表、1死から3番下山が四球。4番正木は三ゴロ併殺打で無得点

福井工大は3回裏、3者凡退

慶大は4回表、先頭の5番北村が左二塁打。6番福井が送って1死三塁。(福井工大は左腕・祝原が登板)7番橋本典の中犠飛で3-0。さらに8番新美が四球、9番朝日の二塁打で二、三塁。(福井工大は3人目の立石が登板)1番広瀬は三塁への適時内野安打。一塁悪送球で二走も生還し5-0

福井工大は4回裏、2死から5番田中、6番南準が連続四球。7番井元は三振で無得点

慶大は5回表、4番正木が右前安打。5番北村の三ゴロで1死二塁。6番福井は中前安打で1死一、三塁。7番橋本は左邪飛。これが犠飛となり6-0

福井工大は5回裏、1死一塁から1番佐藤の右中間を破る適時二塁打でまず1点。その後2死三塁から3番長峯の左前適時打で2-6

慶大は6回表、1死から1番広瀬が中前安打。2死後、3番下山が四球を選び一、二塁。4番正木の右

前適時打で7-2。5番北村の右前適時打で8-2

福井工大は6回裏、3者凡退

力投する慶大2番手の生井



慶大は7回表、2死から1番広瀬が四球で出塁も無得点
慶大は7回から2人目の生井が登板
福井工大は7回裏、1死から9番安田が四球も後続倒れ無得点
慶大は8回表、1死から4番正木が四球で出塁も5番北村は併殺打で無得点
福井工大は8回裏、3者凡退
慶大は9回表、2死から8番新美が左二塁打。9番朝日は四球。捕逸で二、三塁。1番広瀬は四球で満塁。2番渡部遼の右前適時打で2点、3番下山の右中間3ランで計5点を加え13-2
慶大は9回裏、橋本達登板
福井工大は9回裏、3者凡退で試合終了

4回表慶大1死三塁、中犠飛を放つ橋本典

スタメン

【慶大】

- 1 (二) 広瀬=慶応
 - 2 (中) 渡部遼=桐光学園
 - 3 (三) 下山=慶応
 - 4 (一) 正木=慶応
 - 5 (指) 北村=東筑
 - 6 (捕) 福井=大阪桐蔭
 - 7 (右) 橋本典=出雲
 - 8 (左) 新美=慶応
 - 9 (遊) 朝日=彦根東
- 先発投手=増居=彦根東

5回表慶無死、右前打を放つ正木

試合後に健闘をたたえ合う準優勝の福井工大・下野監督(左)と優勝の慶大・堀井監督(いずれも撮影・野上伸悟)



【福井工大】

- 1 (中) 佐藤=福井工大福井
 - 2 (右) 木村=沖縄尚学
 - 3 (指) 長峯=豊橋中央
 - 4 (一) 尾堂=れいめい
 - 5 (左) 田中=鳥取商
 - 6 (三) 南準=東洋大姫路
 - 7 (二) 井元=沖縄尚学
 - 8 (遊) 伊藤=筑陽学園
 - 9 (捕) 御築=敦賀気比
- 先発投手=南大=伊勢工

■福井工大「次元の違いまざまざと…」■

福井工大は大敗した中堅後方バックスクリーンのスコアを、下野博樹監督(60)は携帯で写真に収めた。「慶応さんに次元の違いを、まざまざと見せつけられました。ここを目標に、選手を鍛えていかないと。戒めも含めて、もう1度という材料にしたくて記念に残しました」と明かした。投手陣が15安打13失点と打ち込まれ、打線は3安打のみ。「決勝まで来られた。大健闘」と選手をねぎらいつつ、リベンジを誓った。(C)2020,Nikkan Sports News.nikkansports.comに掲載の記事・写真・カット等の転載を禁じます。すべての著作権は日刊スポーツ新聞社に帰属します。



堀井監督の忘れられない恩師の言葉

慶大の堀井哲也監督

第70回全日本大学野球選手権記念大会で、慶大（東京六大学）が4度目の優勝を決めた。就任2年目で母校を日本一に導いた堀井哲也監督（59）は、実は慶大入学時は野球部員ではなかった。4年春に初めて先発出場した際には、恩師からかけられた忘れられない言葉があるという。

堀井監督の野球人生は、順風満帆なものではなかった。静岡県東部の函南町生まれ。地元の強豪・県立静岡高にあこがれたが、「県内にたくさんいるOBに声をかけてもらえるような選手じゃなかった」と笑う。県立菰山高に進学して硬式野球部に入学。「打球が外野に飛ばなくなった」という。

当時は右投げ右打ち。1年秋に一念発起し、左打ちに挑戦する。右投げ左打ちの選手が今ほど多くなかった時代。その中で参考にしたのはプロ野球阪神で活躍した藤田平さんだった。「朝昼晩とティー打撃をした。付き合わされる同級生や下級生は大変で、ぼくの顔を見ると逃げ出すやつもいた」と苦笑する。そうやって、2年夏にはレギュラーをつかんだ。

東京六大学にあこがれたが、「東大じゃないと試合に出られないと思った」と国立大を志望。共通1次試験の結果が思わしくなく、志望校を変えたものの、「合格したら、そっちに行くつもりだった」と打ち明ける。

だから、慶大入学式の日はまだ野球部に入部していなかった。「ボート部に勧誘された。けっこう親切に色々教えてもらった覚えがある」。入学後に野球部の門をたたいたが、3年までは代打の2打席しかリーグ戦出場がなかった。

東京六大学野球春季リーグで優勝し、選手らと記念撮影をする慶大の堀井哲也監督（前列左から3人目）

3年生になるとき、前田祐吉さん（2016年に85歳で死去、20年野球殿堂入り）が監督に復帰した。今も鮮明に覚えているのは4年の春季リーグ、早大2回戦に敗れた夜だ。

合宿所に戻り、前田監督が3回戦の先発メンバーを発表し、一人ずつアドバイスを送った。

「6番レフト堀井」

初めてのスタメン、しかも早慶戦。胸の高鳴りを抑えきれない堀井選手に、前田監督は言い放った。

「堀井、お前は最初で最後の先発だ。悔いのないようにやれ！」



忘れられない瞬間だという。「うれしさと、えっ、最初で最後なの？という思いと……。複雑な心境だった」と笑う。

結果的に堀井さんは、第1打席のチャンスで右越え二塁打を放って監督の起用にこたえた。最後のシーズンとなった4年秋はレギュラーとして迎え、開幕カードの立大2回戦で決勝3ランを放つ。「あの本塁打で社会人野球への道がつながった。これも忘れられない瞬間」と懐かしむ。

社会人野球の三菱自動車川崎での現役生活は4年だけ。27歳から6年間は野球部のマネジャーをした。転勤した三菱自動車岡崎で3年間コーチをした後、監督に就任。JR東日本でも監督を務め、一昨年12月から母校の監督になった。

あの日の恩師の言葉を、今どう受け止めているのか。

「前田監督特有の激励だったと思う。こまごまとしたことは言わない。簡潔な言葉をかけ、選手に考えさせる。色んなところに、そういう仕掛けがあった。だから、ぼくは前田監督のミーティングが大好きだった」

堀井監督もミーティングを大事にしている。「練習が終わったら、次の日のミーティングで何を話すか、ずっと考えている」と語る。

全日本選手権大会では指名打者が使えることもあり、リーグ戦と先発メンバーや打順を入れ替え、起用した選手も期待にこたえてくれた。朝から夕方までグラウンドにいて練習を見守り、控え選手の状態まで把握する。とにかく野球好きで、選手を大切に人らしい采配だった。

「趣味？ 大リーグやプロ野球の試合を見ることかな。大学時代も練習がない日は神宮球場で東都大学野球を観戦していたから」

無類の野球好きが第1回大会優勝の名門を、4度目の日本一に導いた。（編集委員・安藤嘉浩）

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権

法並びに国際条約により保護されています。Copyright © The Asahi Shimbun Company.

All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

日刊スポーツ

2021年6月14日8時6分

慶大V正木がMVPに輝く

◆全日本大学野球選手権表彰選手◆			
賞	選手名 学年	大学	
最高殊勲選手賞	正木智也④	慶	大
最優秀投手賞	増居翔太③	慶	大
首位打者賞	渡部遼人④ (16打数9安打)	慶	大
敢闘賞	木村哲汰④	福井工大	

慶大（東京6大学）が34年ぶり4度目の優勝を果たした。15安打13得点で圧倒。今秋ドラフト候補の4番正木智也内野手（4年＝慶応）が先制2ランを含む3安打3打点で、最高殊勲選手賞に輝いた。

全日本大学野球選手権・最近10年の決勝				
年	優勝	スコア	準優勝	MVP 学年
12	早大	4-0	亜大	吉永健太郎①
13	上武大	6-5	亜大	横田哲④
14	東海大	2-0	神奈川大	大城卓三④
15	早大	8-5	流通経大	茂木栄五郎④
16	中京学院大	5-2	中央学院大	山崎善隆④
17	立大	9-2	国際武道大	大東孝輔④
18	東北福祉大	6-2	国際武道大	吉田隼④
19	明大	6-1	佛教大	森下暢仁④
20	<新型コロナウイルスの影響で中止>			
21	慶大	13-2	福井工大	正木智也④

大学選手権優勝回数上位	校名		回数
	①	法大	8
	②	駒大	6
	//	明大	//
	④	早大	5
	⑤	近大	4
	//	亜大	//
	//	青学大	//
	//	東洋大	//
	//	東海大	//
	//	立大	//
	//	慶大	//